

自己実現 2025

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

ラストスパート！！

「ラストスパート【last spurt】」の意味を調べてみると

- 1 陸上競技や水泳などで、ゴール近くで残った力を出しきって力走・力泳をすること。
- 2 物事の最終段階で、残った力を出しきってがんばること。

とあります。3 年生のほとんどの人は1か月後の大学入学共通テストを受験します。また、私立大学の受験も1月末くらいから始まります。受験まであと1か月という時期になると、いよいよラストスパートという思いが強くなりますね。でも、受験で使う「ラストスパート」ってどういう意味なのでしょううか？

マラソンなら最後の力を振り絞って…ということですが、受験勉強でのラストスパートとは、これまで走ってきた道に落とし物をしていないかを確認し、試験本番で全力疾走できるようにしておくことです。つまり、最後の見直しの時期です。

これまで「なんだ、こうやって解けばいいんだ」「あっそうか、うっかり忘れていた」など、「～すればよかったんだ」と後悔したままほったらかした部分があると思います。このようなところを、問題集、模試から洗い出し、もう一度解き直すという勉強を必ずして下さい。

予備校などでは、合格した受験生と不合格だった受験生の再現答案を基に入試の分析をしています。その話を聞くと、どんな難関大学でも、難しい問題ができなかったから落ちたという人はほとんどいません。逆に、標準的な問題でミスをして落ちたという人はたくさんいます。つまり、標準問題をじっくり復習し、「確実に解ける」というパターンを増やしていくことこそ、合格への近道なのです。

【大学入学共通テスト直前・各教科(科目)別アドバイス】

今回は、大学入学共通テスト本番に向けてのアドバイスを各教科(科目)の先生方からいただきました。よく読んで、頭と心の準備をしておきましょう。

国 語

残された時間に取り組むべきことは、古典分野の基本事項の確認です。まずは漢文です。基本句形の知識の抜け落ちがないかを最終確認しましょう。古文では「古文単語」の語彙力強化と、「敬語法」や「識別に必要な基本文法」を徹底することです。

基本事項の確認と並行して演習を続けていくことも必須です。「時間配分」を意識した演習です。本番で何よりも注意したいのは「時間配分」です。最初に着手した大問に時間をかけすぎて、最後で時間切れになってしまったり、焦って落ち着いて本文が読めなくなったりすることのないように、時間配分を念頭に置いて演習し、共通テスト形式の問題を解く勘を鈍らせないようにすることが重要です。

共通テストでは、複数の長文の組み合わせはもちろん、対談やエッセイ、詩や和歌・俳句を含む文章など、さまざまなジャンルからの出題が考えられます。図表や実用的文書などの資料と評論との組合せ問題も出題されます。けれども、これまでにさまざまなパターンの演習にあたってきた皆さんなら大丈夫です。本番はどんな問題かなと、楽しんでくる気持ちで向かっていきましょう。健闘を祈ります。

数 学

試験までにできること

●感覚をにぶらせないように準備する。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2025』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

可能な限りすべての分野の問題を解くことによって、知識の確認をしましょう。自分の知識をまとめたノートや苦手な分野の公式を覚えるためのノートなどを作ってもよいと思います。

●定義・用語や公式を確認し、確実にモノにしておく。

頻出の定義や公式は確実に覚えるようにしましょう。演習の中で曖昧な覚え方をしているものは、チェックして確実なものにしていきましょう。共通テストは時間との勝負です。安易に「公式は導けばいい」などと考えず、導き方も含めてしっかりと理解して身につけておくこと。当日に公式を導く時間があるのならば他にやることがあるはずですよ。

試験当日

●科目選択を間違えないこと。

「数学Ⅰ・A」と「数学Ⅰ」の科目選択を間違えないこと。試験当日は改めて、冊子の注意事項をちゃんと読みましょう。ミスをする受験生が毎年必ずいるという事実をちゃんと受け止め、自分は大丈夫とは思わないで、細心の注意を払って試験を始めて下さい。何事も最初の一步が大切です。慎重に正確にスタートを切ろう！！

●「文章の飛ばし読み」や「思い込み」に注意する。

共通テスト特有のある程度の文章量を読ませる出題がされることが予想されます。今まで以上に限られた時間で多くの問題を解かなければいけません。そのため、ついつい急いで読もうとしてしまいます。そうすると飛ばし読みをして大事な部分を見落としとしてしまったり思い込みで問題を解いてしまったりしてしまいます。落ちついて、少し丁寧に文章を読むぐらいの気持ちが必要です。

●ある設問がわからないからといって、そのあとの設問を安易にあきらめてはいけません。

つながりのある問題があったり、単独の問題があったり、解けない問題があっても、それ以降の問題をすべて解かないのではなく、解ける問題がないかを探しながら文章を読み進めましょう。あとにヒントが隠されていることもあります。何事もあきらめないことが大切です。また、ひとつの問題に時間をかけすぎないこと。「この問題のタチツテより次の問題のアイウエオ」

●問題用紙の余白の使い方を計画的にする。

図は見やすい大ききで書き、計算も可能な限り丁寧に整然と書くようにしましょう。これらをわかりやすく残しておくことは、確認時間を減らすことになり、さらにミスを防ぐことにもつながる。

英語

共通テストのリーディングで問われている力は、深い読解能力というよりは、情報処理能力です。限られた時間内で、正確に大量の英文を読み、設問に答えることが要求されます。高得点を取るためには、英文の論理の流れを正確に素早くたどっていくことが必要です。日本語に訳しながら読むのではなく、何が言いたいのかを、前から後ろへ、英語から直接くみ取り読み進む能力が必要です。読み取った内容は、簡単な記号やメモを残して読み進めます。早く正確に読むためには、①どんな人が、どんな目的で書いた文章なのかをリード文とタイトルから推測する。②ディスコースマーカーなどを使って論理の流れをつかむ。③設問やワークシートなどの資料の問われている場所から必要な情報を推測する。④正しい答えを探す解法と消去法の両方を駆使して正解を選ぶ。ことなどが大切です。試験形式になじみ、自分の読解の速さと精度を磨いていきましょう。①～④の過程を意識して、じっくり読むべき情報とそうでない情報を選別しながら読むことで、さらに読む速度が上がり、必ず安定的に高得点が取れるようになるはずです。制限時間内に全問に目が通せるように、問題全体に目を通して、設定した制限時間に従って問題を解くことも重要です。数問は間違えても構わないので、時間がかかりそうな問題を深追いしすぎるのは得策ではありません。

リスニングも、これまでの演習で形式にかなり慣れてきたと思います。「どのタイミングで」問題冊子に書かれている英文に「どの程度」目を通しておくのか、どういう事前処理が望ましいかを再度確認し

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2025』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

ておいて下さい。目標の点数に届いていない人は、全部聞いてから解くほうがあっているのか、聞きながら解くほうがあっているのかなど、いろんな解き方に挑戦して、自分最適の解き方を見つけましょう。自分の聞き方を客観的に把握して、分析することが点数アップのカギです。これまでの演習から、多くの人が1回聞きに切り替わる、第3問、講義を聞きながらワークシートを埋める第5問の得点率が低いことが分かっています。そこで確実に点数を取ることが、他の人よりも一歩抜け出すことにつながります。必ず対策を立て、自分なりの解き方を確立して欲しいと思います。

何度も演習を繰り返すことで、共通テストの問題を解くことが、「特別な経験」から、「いつものルーティーン」に変化し、当日落ち着いて受けることができるはずです。共通テストまで、毎日英文を読みましょう。そして、英語の音声を聞き、耳を慣らしておきましょう。きっといい結果が得られるはずです。残りの日々を、後悔のないように過ごしてください。

物 理

本番までは、今までやってきた問題集等の見直しに徹してください。各分野を出題している「大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理」を見直してみてください。「共通テスト対策直前演習(第6回)」やプレテスト、マーク模試、問題集(リードα)などで間違えた問題や教科書で疑問に思うことについて、特に、出題傾向が予想される物理現象、実験に関するグラフや図等は教科書や問題集の解答解説などをよく読んで消化しておくことが肝心です。本番では、時間配分を考えながら、解ける問題から確実に解きましょう。早合点や計算ミス、マークミスには細心の注意を払ってください。

物理基礎

本番までは、プレテスト、マーク模試、「大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理基礎」など、今までにやった問題の見直しを中心に学習してください。本番では、問題文をしっかりと読み、早合点や計算ミスに気をつけて、解ける問題から確実に解きましょう。

化 学

無機・有機・高分子の範囲の暗記すべき物質の化学式(イオン式)・性質・反応等が頭の中で整理された状況になっているでしょうか。先日配布した「共通テスト試験直前対策プリント」等を活用してください。プレテストや直前演習(6回分)の自己採点で判明した弱点分野はすぐに補強するようにしましょう。本番直前で最も効果的に総得点UPが期待できる勉強となるはずです。また、新しい問題に取り組むのもよいですが、これまでに解いたチェック&演習、授業プリント、模試等の間違えた設問の解き直しをして、欠けていた項目の再確認し、知識を定着させましょう。本番では、実験を通したグラフ考察問題、思考力や読解力を要する問題が多く出てくることが予想されます。少し考えても解法の道筋が見えない問題は潔く後回しにして時間配分を間違えないようにしましょう。そして、くれぐれもマークミスのないように。

化学基礎

プレテストや直前演習(10回分)の自己採点で判明した弱点分野はすぐに補強しましょう。また、必ず本番までに教科書中の覚えておくべき項目(化学と人間生活の分野も含む)をサラッと見直ししておきましょう。できなかった問題はやり直して、徹底的に弱点をつぶしてください。また本テストでは、手間のかかる計算問題や思考力を要する問題が出題されることが予想されます。少し考えても解法の道筋が見えない問題は潔く後回しにして時間配分を間違えないようにしましょう。そして、くれぐれもマークミスのないように。

生 物

まずは時間配分、できる問題から片付けよう。各問題ではリード文の読み落としに注意。初見で

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2025』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

線を引くなどして、但し書き（ただしがき）等を頭に入れておくこと。グラフは縦軸・横軸を確認、何を示しているのかを理解し、変化している部分に注目すること。はっきり数値が読み取れるところは実際に計算してみるのもアリ。同じように、表も他と異なっている部分に注目しよう。考察問題で結果を比較する場合は、まず対照実験をみつける。そして対照に対して、問題になっている条件のみ異なっているものに注目すること。これまで数多くの演習を重ねてきた皆さんは、必ず問題の解法にたどりつくことができるはず。2日目の最初の試験、最後まで集中を切らさないことが大切。冬季休業中には、もう一度教科書の最初から細かい知識を復習しておこう。まだまだやれることはあるはず、ラストがんばって！

生物基礎

授業中に行った共テ対策の通り、まだやれることは沢山あるので、焦らず一つ一つ取り組もう。教科書が一番良い参考書、知識問題で取りこぼさないようにもう一度隅から隅まで読んでおくこと。用語はあやふやな理解ではなく、自分で説明ができるように。時間が取れた時は、考査・模試・直前演習の間違い直しをするのがおススメ。本番では、とにかくリード文をしっかりと読み取る。見慣れない用語・グラフ・実験が出題されても教科書程度の知識があれば情報が読み取れるようにしてあるので心配はいらない。共テよりも質・量とも難度の高い考査で鍛えてきた皆さんは必ず力がついているはず、自信をもってガンバレ！

歴史総合、世界史探究

○基本はできていると感じる人へ

文化史・現代史・東南アジア史・アフリカ史・ラテンアメリカ史・中央アジア史は後回しになっていと思いますが、さらなる高得点を目指すためには、これらに手をつけて下さい。深い知識はあまり必要ないと思いますが、教科書・資料集・ノートを活用して基礎基本を身につけて下さい。

○基本がまだ怪しい人へ

高得点を取るにこしたことはありませんが、基本ができていないのに難しい問題に当たっても非効率で高得点は望めません。7割ラインは、基本（ヨーロッパや中国・イスラム圏の大きな流れを理解すること）で十分届きます。時間をかけて、基本の理解・インプットに努めてください。その際には教科書・資料集・プリントを活用して下さい。また、「総合マスター世界史」を3回くらい繰り返してみても良いです。

○全員へ

教科書の文章や資料集の年表で歴史の流れを理解し、覚えるのが基礎・基本です。後は共通テストの問題になれて、しっかり練習して下さい。慌てず、じっくり問題に取り組めば、点数は上がります。今やっている直前演習をもう一度見直してしっかりと吟味して下さい。世界史は、入試当日まで点数が上がり続けます。頑張ってください。

歴史総合、日本史探究

過去問演習を行い、穴になっている知識を把握して確認する作業を行ってください。残りの期間で穴をなくし自信をつけましょう。また直前確認用のプリントを授業で配布しました。以下のように活用してください。

- ① まず基本となる政治史は流れ、単語を見て、ちゃんとストーリーが思い浮かべられるか、単語の意味が解るかを確認してみましょう。確認した結果、特定の時代が弱いと思った場合は教科書に立ち回り要確認。また政権担当者がいつごろの世紀の人間なのかかわからないと共通テストでは特に痛い目を見ます。前近代なら古代～近世の政権担当者はいつぐらいの時代に活躍したのか（何世紀のいつごろ（前半なのか、中ごろなのか、後半なのか））を把握する（例えば新井白石は何世紀のいつごろの活躍なのかなど）、近現代なら5 年 10 年単位（必要なら年単位）で把握する作業をしましょう（確

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2025』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

認プリントにはそこまで細かくは年代情報を書いていません。よって自分で調べてメモとして書き込むと覚えられと思います)。

- ② テーマ史的内容がさっぱりわからなくなったら図説などを眺めて確認するのもよいです(内容的に踏み込みすぎている場合もあるので暗記ではなく理解するために使いましょう)。文化史・外交史・経済史は忘れやすいので直前まで確認が必要です(大まかな世紀や年代の把握は常に意識)。特に外交史は東アジアを地域ごと(中国・朝鮮・琉球(沖縄)・蝦夷地(北海道))に把握し、年代を覚えるように(時系列問題でよく出る)。

基本のところでは落とすのは後悔がのこります。そうならないように基礎的な知識は常にメンテナンスを心掛けるようにしましょう。

たかが三週間です、日本史は直前まで詰め込んだもの勝ちなので時間を無駄にせず、当日まで確認し続けましょう。

※歴史総合はさまざまな地域で共通する大きなトピックを意識して確認してください。(例えば、近代化・革命・立憲主義・植民地(帝国主義)・反帝国主義・ファシズム・共産主義・反共産主義・資本主義など)

地理総合、地理探究

最後まであきらめない。

ややこしい問題は後回し。

できる問題から解いて行く(マーク記入時に間違えないように)。

時間ギリギリまで地図帳をよく見ておく。

基本的な統計、気候区分、自然地形を確認する。

問題(図表や地図)の中にヒントが隠されていることが多い。

健闘を祈ります。

公共、倫理

○基本はできていると感じる人へ

漏れが出るのは青年期の単元と応用倫理の単元だと思っています。嫌い・苦手な単元を補い、赤色の問題集をスピーディーに繰り返してください。9割を超える力がついてきたと感じたら、あと上げ幅は10点弱しかありません。他教科をやってください。

○基本がまだ怪しい人へ

高得点を取るにこしたことはありませんが、基本ができていないのに難しい問題に当たっても非効率で高得点は望めません。7割ラインは、基本で十分届きます。授業の1周目でやった思想家を今一度見直してください。先日、エピクロスだと思ったら仏陀の縁起だったように…キルケゴールのイデーにやられたように…もう一度主要な思想家の本質に迫ってください。資料集で原典を読むのがおすすめです。

○公共の政治経済分野が大穴

赤色の問題集の「公共」はちょっと難しいです。ベネッセの黄色の問題集で出てきた範囲に関係する知識・理解をつけておきましょう。学習のポイントは「あなた」に関わるかどうか。あと「2023年」のニュースを検索してざっと見渡してみてください。

○全員へ(全員の心に届け!)

徐々に知識の最終確認に入りますが、一問一答ばかりやるのはやめてください。記憶より理解が大切です(歴史も!)。もう一度教科書の文章や資料集の原典を読みましょう。

そして「用意をしてください」と試験官に言われる直前まで一心不乱に勉強すること。がり勉とわかってけっこう!直前に見た何かが、あなたの阿弥陀如来になるはずです。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2025』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

公共、政治経済

政経は問題パターンや聞かれる内容については社会科のほかの科目よりも少ない(ただし知らない内容が聞かれることもある)。したがって、とにかく演習量をこなし、パターンに慣れるのがよい。教科書に詳しく載っていないような近年の出来事(たとえば成人年齢の変更と少年法の関係など)については模試、共通テスト演習の解説などで復習するべきである。一度過去に解いた問題を見直しが必要である。表・文章の読解力を問う問題も、落ち着いて論理的に読めば答えが導き出されることも多いので、これも慣れが大事である。また政治分野の法や政治制度、経済分野の法や制度に関する内容は覚えていれば答えられるので落とすと後悔する。ここをとらないと高得点は取れないので反復を重視して暗記しよう。計算問題も「何となく解けた」では再現性がないので、曖昧な理解はしないように。政経は本番直前にのびるのでそれを信じて頑張ろう。

情報

大学入試センターが公開している共通テスト試作問題では、「専門知識を問う」よりその場で「**問題文から考察し解答できる**」問題がほとんどであった(他教科と差別化を図るために作られた問題であろうと推察できる)。とはいえ、**専門知識があれば比較的早く解ける**ことは間違いない。その知識も、単語を知っているというのではなく、その**中身を理解**していることが大切である。

今までの教科にはない出題の内容なので、模試などで情報のテストに自信がある者も**丁寧に新たな気持ち**で臨むことが大事である。逆に、自信のない者は**時間をかければ解ける問題**ばかりだという意識をもってあきらめずにひとつずつクリアしていくことを心がけよう。

試作問題での出題内容は以下の通りである。

第1問 小問集合 第2問 情報デザイン 第3問 プログラミング(要 専門知識)
第4問 データの活用

※本番のテストでは、試作問題になかった問題も出題可能性あり。(ネットワーク、フローチャートなど)
上記**内容**が変更される可能性は大。(出題**方法**は試作問題を踏襲と思われる)

情報は、2日目の最後(17:00～)に実施される教科です。体力的に厳しいと思いがちですが、全受験生が同じ状況であることを思い直して、試験中はもちろん、前日までの体調管理に気を付けて乗り切ってください。

[3学期に向けての今後の予定]

- ・ 1/ 8(水):始業式
- ・ 1/ 9(木)～ 1/17(金):特別時間割(午前中授業[3 コマ]) ※1/17(金):学年集会(3 限)
- ・ 1/18(土)～ 1/19(日):大学入学共通テスト
- ・ 1/20(月):1 限 学年集会 2・3 限 自己採点作業
- ・ 1/21(火)～ 1/30(木):特別時間割(午前中授業[3 コマ])
- ・ 1/27(月)～: **国公立大学(前期・後期・中期) 出願開始(～2/5(水))**
- ・ 1/31(金):大掃除・学年集会・LHR
- ・ 2/ 3(月)～:自由登校・個別(2次)対策補習等開始
- ・ 2/ 7(金) 耐寒登山マラソン(先生達は学校にいません)
- ・ 2/14(金) 総合理学科推薦入試準備のため生徒登校禁止
- ・ 2/17(月) 総合理学科推薦入試のため生徒登校禁止
- ・ 2/18(火) 総合理学科推薦入試作業のため本館立入禁止
- ・ 2/25(火) 国公立大学前期試験開始
- ・ 2/27(木) 卒業式予行・予餞会 ・ 2/28(金) 卒業証書授与式

変更の場合あり。随時担任からの連絡で確認すること。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
『自己実現 2025』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。